

令和3年度 岡山県文化振興審議会

日時：令和4年2月21日（月）

13時30分～15時

場所：ルネスホール ワークルーム

1 開 会

2 議 事

- ・ 令和3年度県実施主要事業について
- ・ おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について
- ・ 令和4年度重点事業について

3 その他

- ・ 次期指定管理者の選定結果（犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館）
- ・ 令和3年度文化観光推進法に基づく拠点計画の認定
備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画

4 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

任期：2022. 2. 1～2024. 1. 31

氏名	役職名	
臼井 洋輔	備前市立備前焼ミュージアム館長	
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館名誉館長	欠席
加納 容子	勝山文化往来館ひしお副館長	欠席
神崎 宣武	民俗学者	
柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部教授	
高原 洋一	岡山県美術家協会副会長	
竹内 京子	くらしき作陽大学教授音楽学部長	
二階堂 裕子	ノートルダム清心女子大学文学部教授	
松田 正己	山陽新聞社代表取締役社長	

敬称略 50音順

岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。

令和3年度 岡山県文化振興審議会

配付資料

日時 令和4(2022)年2月21日(月)

13時30分～15時

場所 ルネスホール ワークルーム

- 1 令和3年度県実施主要事業について
 - (1) おかやま文化芸術コネクト事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (2) アートプロジェクトおかやま推進事業
 - ①おかやまAIR地域協働事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ②次世代おかやまアーティスト活動促進事業・・・・・・・・・・ 4
 - ③文化芸術オーガナイザー育成・支援事業・・・・・・・・・・ 5
 - ④オーケストラの鑑賞機会の提供・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (3) 県立美術館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (4) 新型コロナウイルス感染症関連対策事業・・・・・・・・・・ 11
 - 2 おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について
 - おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系及び成果指標の実績・・・ 12
 - おかやま文化振興ビジョンの中間見直しについて・・・・・・・・ 18
 - 3 令和4年度重点事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - 4 その他
 - (1) 次期指定管理者の選定結果(犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館)・・ 22
 - (2) 令和3年度文化観光推進法に基づく拠点計画の認定・・・・・・・・ 24
 - 備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画
 - (3) 県北アートを切り口とした県観光振興事業・・・・・・・・・・ 27
- 〈参考資料〉
- (1) おかやま県民文化祭パンフレット
 - (2) 岡山フィルハーモニック管弦楽団吉備中央・美作特別公演ちらし
 - (3) 県立美術館ちらし(I氏賞選考作品展、修善寺物語 大観と靱彦、紫紅たち)

おokayama文化芸術コネクト事業

事業趣旨

県内に主な活動拠点を置く文化芸術に関わる人材(以下「芸術家等」という。)が、地域の貴重な文化資源と認知され、コロナ禍においても活動の場を得ることができるよう、県文化連盟内に設置されている「おokayama文化芸術アソシエイツ」のマネジメント機能を強化し、継続的サポート体制の構築を目的として、芸術家等やその活動を県民に広く紹介するポータルサイト「マイニングおokayama」を開設する。

このサイトでは、芸術家等の情報を集積・公開し、その活動内容を広く紹介することで、芸術家等の活動の場や県民が芸術文化に親しむ機会の拡充を図ることとしている。

事業概要

- 1 名称 「マイニングおokayama」※マイニングは「採掘」、「掘り起こし」の意
(URL <https://www.mining.bunren.jp>)
- 2 開設日 令和4年2月15日(火)
- 3 運営主体 おokayama文化芸術アソシエイツ(公益社団法人岡山県文化連盟)

4 掲載する内容

(1) 主なコンテンツ

コンテンツメニュー	内 容
文化芸術 マイニングリレー	芸術家等の人物像やその活動を紹介(※)するコンテンツ ※紹介する人「マイナー(=採掘者)」が紹介される人「ジェム(=宝石)」をリレー形式のインタビューにより紹介
クリエーション さいゆうき 再遊記	県内アーティストを中心とした作品展等のアーカイブ集(※) ※アーティストの作品を過去の展覧会の様子を通じて視覚的に紹介
文化・芸術・芸事 名鑑	芸術家等を紹介(※)するコンテンツ ※人材バンク機能を有し、活動分野、連絡先、自己PRポイント等を掲載

(2) その他の機能

文化・芸術・芸事名鑑への 登録	「文化・芸術・芸事名鑑」への登録フォーム(※) ※主な活動拠点を岡山県内に置く個人、グループ、団体等であれば、どなたでも登録が可能
おokayama文化芸術活動相談 窓口	「マイニングおokayama」や文化芸術に関するお問い合わせフォーム

事業概要

5 ポータルサイト「マイニングおかやま」に期待される効果

(1) 芸術家等に期待される効果

芸術家等へ活動等を紹介する場を提供することで、継続的支援につながるだけでなく、これまで活躍したことがない場での活動の拡大が期待でき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で低迷した文化活動の活性化につながる。

(2) 県民に期待される効果

県民だれもが、このポータルサイトを活用することで、講師探しやイベントに華を添える演奏、オフィスに飾る絵、子ども向けワークショップなどハードルが高く感じる文化芸術を身近な存在とすることができ、文化芸術の体験と鑑賞の機会の確保につながる。

6 今後の展開

「文化・芸術・芸事名鑑」掲載の芸術家等を活用したモデル事業に取り組み、活用内容をポータルサイト内で公表予定

- ・R04.01.25 入院患者の方への歌の誕生日プレゼント(オンライン配信)
- ・(期日未定) 視覚障がある方の川柳教室と備前焼体験(天神山文化プラザ)

○ポータルサイト「マイニングおかやま」Web 画面



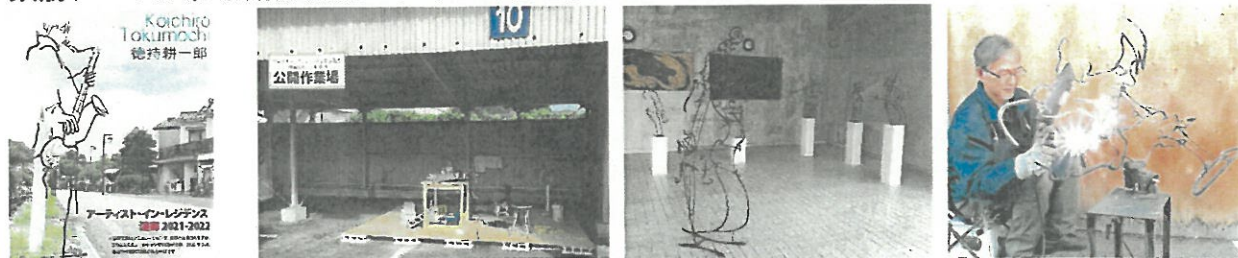
おかやまAIR地域協働事業

事業趣旨	<p>地域住民が優れた芸術文化に身近に接する機会を提供するとともに、地域の魅力をアートで掘り起こし、国内外へ発信することを目的とし、国内外のアーティスト(美術家、音楽家、舞踊家など)を招へいし、滞在制作を行うAIR (Artist In Residence) に併せて、地域との協働による取組を行うことで、地域にアートを取り入れ、多様な視点から岡山ならではの文化活動や創造活動などを促進する。</p>
事業概要	<p>1 Nagi Contemporary Arts Project</p> <p>(1) 実施団体 Nagi Contemporary Arts Project</p> <p>(2) 鑑賞者数 4,641名</p> <p>(3) 参加アーティスト(1組+9名) 飯沼 洋子(滞在制作) & Arthur Barbe(オンラインで滞在制作に参加)、 畑山太志、MichailMichailov、Enzo Certa、Charlotte Vitaioli、架菜梨案、 七搦綾乃、太田 三郎、Bertrand Dezoteux、花房 紗也香</p> <p>(4) 概要 奈義町在住で、2021年の「I氏賞」奨励賞作家である花房紗也香氏がキュレーターを務め、滞在制作作品を含めた日本とフランスの10名の作家による現代アートの展覧会を開催した。アーティスト自身が運営・企画することで生まれる本展示ならではの視点と地方だからこそできる展示を行った。 会期：令和3年10月9日～11月7日 会場：奈義町現代美術館、ナギテラス、Gallery FIXA、Studio Moim</p> <p>2 鉄筋アートが彩る湯郷温泉～ジャズの音と共に～</p> <p>(1) 実施団体 湯郷温泉旅館組合</p> <p>(2) 参加アーティスト 徳持耕一郎ほか</p> <p>(3) 概要 湯郷温泉各所に徳持氏の作品を点在させ、インスタ映えする空間を提供することで、観光客の街歩きの楽しみの1つとし、誘客を促進するほか、地元を含めアートを気軽に楽しめる空間を作るため、滞在制作を8月から行っており、湯郷温泉の宿泊施設等への作品展示や製作現場の見学、地元イベントでの作品展示等をおこなっている。2月末に完成予定で、3月20日には、ジャズコンサートを交えてのお披露目を予定している。 会期：令和3年8月～令和4年2月(作品の展示、滞在制作) 令和4年3月～ 滞在制作作品8体の展示 ※作品は継続展示 会場：湯郷温泉街</p>

Nagi Contemporary Arts Project



鉄筋アートが彩る湯郷温泉～ジャズの音と共に～



次世代おかやまアーティスト活動促進事業

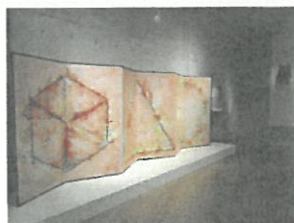
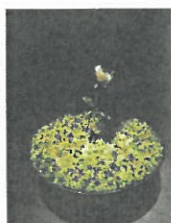
事業趣旨	<p>次世代を担う芸術家を育成するとともに、県民に対して優れた芸術に触れる機会を提供し、県文化の底上げを図ることを目的として、岡山県にゆかりのある芸術家を起用した企画展や舞台などを実施し、活動の機会を創出する。また、併せて若手・新人の芸術家にも活動・発表の機会を提供し、創作活動を支援する。</p>
事業概要	<p>1 藪井祐介サウンド・スペース～光～ (1) 実施団体 エレクトロニック・ミュージック・ラボ実行委員会 (2) 鑑賞者数 924名 (3) 参加アーティスト(1名) 藪井祐介(音楽家) (4) 概要 藪井祐介は、5次元キーボードやAR楽器など最先端電子楽器を駆使し、壮大なオーケストラサウンドをひとりで奏でる演奏スタイルを持つ。今回、津山市の鶴山を考える会と協働で、宇田川榕菴など著名な蘭学者を輩出した歴史をモチーフにした創作曲などを演奏し、後日、映像配信を行った。 日時：令和3年9月21日(まん延防止等重点措置適用のため無観客開催) 会場：津山城 三の丸 つるまる広場</p> <p>2 高月國光展 五感で感じる美の世界 (1) 実施団体 NPO法人勝山・町並み委員会 (2) 鑑賞者数 789名 (3) 参加アーティスト(2名) 高月國光(木工作家)、小出浩太郎(フローリスト) (4) 概要 高月國光は、展示にあたり、会場全体をインスタレーション作品と捉える展示方法に挑戦し、伝統工芸の技術を極める中で培われた美意識を表現した。 また、小出浩太郎による花材を使った作品をプラスすることで、会期後半は、展示を変化させるほか、見たり、触ったり、木の香りや音を楽しんだりと五感で楽しめる展示を行った。 会期：令和3年11月13日～28日 会場：勝山文化往来館ひしお ホール</p> <p>3 金孝妍「息する瞳 -Breasphere-」／クボタケシ「RIOT」 (1) 実施団体 公益財団法人 成羽町美術振興財団 (2) 参加アーティスト(2名) 金孝妍(画家)、クボタケシ(彫刻家) (3) 概要 絵画を「痕跡」として捉え、作品を展示する金孝妍と、石素材の個性を最大限生かした作品群を展示するクボタケシのコラボ展を実施している。 金は、「成羽」に着目したこの土地ならではの展示し、クボは、新見市の企業から提供された石灰石で制作した新作彫刻を展示するほか、「星が生れる前の星に」と題した2人のコラボレーション空間を演出しています。 会期：令和4年1月5日～3月21日(会期中に各種イベントを実施予定) 会場：高梁市成羽美術館 1階多目的展示室ほか</p>



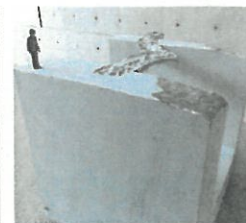
藪井祐介 ステージ



高月國光展 作品







金孝妍／クボタケシ展 展示作品



**文化芸術オーガナイザー育成・支援事業
「アートで地域づくり実践講座」の開催状況**

事業趣旨	地域の資源を活用し、地域のイメージアップとにぎわい創出につながる文化芸術イベントの企画やコーディネートができる人材を育成し、文化を核とした地域づくりを推進する。
フィールドワーク場所	早島町
事業概要	<p>1 講師 浅井 克俊（ココホレジャパン（株）代表取締役）、 江森 真矢子（（一社）まなびと代表理事）、山田 茂（画家）</p> <p>2 講座受講申込者数 18名</p> <p>3 講座修了見込者数 12名</p> <p>4 講座の開催（6月9日～1月29日）全12回+実証イベント 企画の進め方や実際のアートイベントの運営、イベントの広報戦略、効果的な広報物の作成方法などを講座講師、外部講師から学ぶ座学講座に加え、地域の資源や歴史・文化を生かしながら、受講生自らが企画・準備から開催・運営までを実際に経験する文化イベント（実証イベント）を行った。 イベントの経験を活かすための振り返りを行い、実際にイベントの企画書の作成を行うこととしている。</p> <p>5 実証イベントの開催（11月20日～21日） 地域資源を活用し、地元住民との協働により、受講生自らが企画・準備・開催・運営までを行う実証イベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イ ベ ン ト 名：昔、ここは海だった。 ・開 催 場 所：いかしの舎（早島町早島1466） ・プ ロ グ ラ ム 数：7件 ・概 要： 受講生が「立ち止まる」をコンセプトに早島町の過去・現在・未来を見つめるために、「海」をテーマにしたプログラムで構成した実証イベントを開催した。 和室の中に「海」を再現するインスタレーションをはじめ、早島町幼稚園とのコラボ作品、海を彷彿させる映像作品、ダンスパフォーマンスなどを行った。 質の高いアートに触れるだけでなく、子供も楽しめる早島らしいアートイベントを展開できた。 ・来 場 者 数：約500人 <p>6 講座修了生の活動促進 修了生から要望の多かった広報についての講座を8月に実施し、今後の活動に向けた知識の取得を行うとともに、現役受講生との交流会もを行い、講座修了生の活動事例などを意見交換会行うなど、講座修了生間のネットワークの強化を図った。 続いて、1月には、助成金獲得を目指した実践的な企画立案の講座を行い、活動の促進を図った。</p>

オーケストラの鑑賞機会の提供

事業趣旨	<p>日頃本格的なオーケストラの演奏を聴く機会が少ない地域で鑑賞する機会の提供と、コロナによる閉塞感を打破し、県民に音楽を通して明るい希望をもたらすことを目的に、県下唯一のプロオーケストラ「岡山フィルハーモニック管弦楽団」による特別公演を開催する。</p>
事業概要	<p>【令和2年度実績】</p> <p>○総社特別公演</p> <p>日 時：令和3年3月13日（土）14時開演 場 所：総社市民会館（総社市中央） 出 演：指揮／熊倉 優 ヴァイオリン／竹澤恭子 曲 目：ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲 M.ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」 入 場 料：一般 2,000円、ユース（19歳以下） 1,000円 入場者数：370名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>【令和3年度実績】</p> <p>○吉備中央特別公演</p> <p>日 時：令和3年11月28日（日）14時開演 場 所：ロマン高原かよう総合会館（吉備中央町豊野） 出 演：指揮／齊藤一郎 ヴィオラ／赤坂智子 曲 目：バッハ／G線上のアリア テルマン／ヴィオラ協奏曲ト長調 ドヴォルザーク／弦楽セレナーデ 入 場 料：一般 2,000円、ユース（19歳以下） 1,000円 入場者数：368名</p> <p>○美作特別公演</p> <p>日 時：令和3年12月19日（日）14時開演 場 所：美作文化センター（美作市湯郷） 出 演：指揮／齊藤一郎 チェロ／佐藤晴真 曲 目：ハイドン／チェロ協奏曲第1番ハ長調 モーツァルト／交響曲第29番イ長調K.201 入 場 料：一般 2,000円、ユース（19歳以下） 1,000円 入場者数：220名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">＜吉備中央特別公演＞</p>

県立美術館事業

県民の幅広い文化活動の発展に寄与するため、岡山ゆかりの芸術家の優れた作品を収集・展示するとともに、県内外の優れた芸術活動を紹介する展覧会をはじめ、美術館講座や教育普及など、当館の機能を最大限に活用した事業を展開している。

また、昨年来のコロナ禍に伴い、美術館活動もこれまでにない制限や対応が迫られる中、当館が県民や観光客にとって、気軽に訪れてみたい場所となり、安心してさまざまな美術体験ができるよう、積極的な広報活動やきめ細かなサービスの提供を行うとともに、若い世代やこれまで足を運んだことのない人々に来館を促す事業にも取り組んでいる。

1 展覧会事業

感染症対策等により臨時休館を余儀なくされ、展覧会の延期等に係る展示計画の変更や調整に苦慮することとなったが、感染防止対策を講じた上で、展覧会事業を実施している。

令和3年度 岡山の美術展（常設展示）

展覧会名	期 間	入館者数（人）
第1期	R3/3/20～ 5/ 9	3,510
第2期 特別展示「柚木家三代展」	6/22～ 8/26	9,596
第3期	中止	-
第4期 特別展示「草間喆雄展」	10/ 1～11/ 3	4,856
第5期 特別展示「I氏賞受賞作家展」	R 4～延期	-
特別展示「もっと伝統工芸」	R 4～延期	-
第6期 特別展示「佐藤一章」	R 4～延期	-
計		17,962

第1期の人数は4/1～を記載

令和3年度 特別展（企画展示）

展覧会名	期 間	入館者数（人）
せなけいこ展	4/ 2～ 5/ 9	29,229
東京富士美術館コレクション展	7/ 9～ 8/29	29,483
第72回岡山県美術展覧会	9/ 8～ 9/19	5,005
星野道夫展	9/28～11/ 7	10,472
熊本県美所蔵肉筆浮世絵展	11/13～12/19	6,232
第68回日本伝統工芸展岡山展	11/18～12/12	5,535
伊豆市所蔵近代日本画展	2/11～ 3/21	(開催中)
計		85,956

<参考>令和4年度 特別展（企画展示）

展覧会名（仮称）	期 間
THE ドラえもん展	4/ 2～ 5/22
高木聖鶴展	6/ 3～ 7/ 3
かこさとし展	7/23～ 8/28
第73回岡山県美術展覧会	9/ 7～ 9/18
佐賀県美優品展	9/28～11/ 6
第69回日本伝統工芸展岡山展	11/17～12/ 4
名古屋市美コレクション展	2/ 3～ 3/12
和田誠展	3/24～ 5/ 7

2 教育普及事業等

○ こんにちは美術館事業

「展示室に誘い、作品や美術に対する理解を深める」「美術館の機能や役割に対する理解を促す」等を主な目的として実施しており、“つくる(制作)”に関わる活動や、“みる(鑑賞)”に関わる活動を中心に、美術や美術館に親しむことができる企画立案に努めた。

○ ワークショップの開催

美術館に親しみ、作品や美術に対する理解を深めることができるよう、制作に関わる活動や体験的に作品を鑑賞する企画など、参加体験型のワークショップを中心に開催した。

- ・特別展関連事業WS (すうじのつぶやきをつくろう!! 他)
- ・岡山の美術展 観察日記 等

○ 学校と美術館の連携

小中高等学校の教育活動(図画工作・美術・総合的な学習の時間・校外学習・職場体験学習等)や大学の授業、また教職員の研修(教科別研修・初任者研修等)の場として、美術館を活用していただいております、出前授業、出前研修などにも取り組んだ。

- ・学校団体観覧(美術館学習)等の受入れ
- ・みんなの参観日「図工の時間・美術の時間ー子どもの学びー」

図工や美術の時間の子どもの学びの姿を美術館に展示するとともに、多くの人が参観できる場を提供した。前期(12月)と後期(2月)の2回開催。 等

3 県立美術館魅力アップ事業

県立美術館をより知ってもらうため、美術館の魅力の発信や県民・観光客への広報の充実、若い世代への来館を促進する取組を行った。

○ 「岡山の美術展」(常設展)活性化事業

- ・所蔵作品に加え、借用作品を展示し、充実した内容で集客アップを図った
特別展示「柚木家三代の絵画と精神展」「草間喆雄展」
- ・岡山の美術展や県立美術館そのものに興味と関心をもってもらうための事業として「せなけいこ展」の会期中に、県内で活動するデザイナー「WARISASHI」の協力により《すうじのつぶやき探し》を当館のコインロッカーや傘立てのナンバープレートに展開し、「柚木家展」「草間展」の会期中には「Drawing Melodies～響き合う表現～」を開催し、展示室や中庭を使つてのパフォーマンス等を実施した。

○ 美術館の魅力発信

平成30年度から配置している「魅力発信スタッフ」により、県立美術館で実施する岡山の美術展・特別展などの情報をSNS等を通じて発信した。

○ 美術館利便性向上

これまで美術館を訪ねることを躊躇していた人にも美術館を楽しんでもらえるよう、授乳室を増室（1→2）し利便性の向上に努めているものの、「託児サービスの日」や「手話付きフロアレクチャーの日」はコロナ禍で令和3年度は休止している。

○ 夜間開館

仕事や学校の帰りに美術館でひとときを過ごしたいという方を対象として、会期中の毎月最終土曜日とお盆に夜間開館を実施した。

○ ボランティア活動（ボランティア 約100名）

多くの県民から親しまれる美術館を目指し、県民と美術館との橋渡しの役割と、美術館活動の円滑な運営をサポートしていただくため、開館当初からボランティア制度を導入している。また、そのためにボランティア研修会も実施している。

主な活動としては、来館者に対する館内の案内、誘導や、展覧会の案内状の発送作業に携わっていただいている。

○ 主な刊行物

美術館の活動や、展覧会のスケジュールをPRするため、以下の刊行物を発行した。

- ・美術館年報
- ・展覧会図録
- ・美術館ニュース（年4回）
- ・岡山県立美術館紀要
- ・展覧会案内リーフレット（令和3年度は大幅なスケジュール変更のため配付せず）

4 その他

○ 岡山県新進美術家育成「I氏賞」事業（事務局：県立美術館）

岡山県にゆかりのある若手芸術家を表彰、支援する「I氏賞」を選考し、贈呈する事業を平成19年度から実施している。（大賞1名、奨励賞2名以内）

1次選考を通過した作品を展示する選考作品展（R4.2.1～2.13）を実施した。

なお、予定していた第十一回I氏賞受賞作家展（第11回・第12回大賞受賞者（2人））は新型コロナウイルス感染拡大により令和4年度へ延期している。

5 特記事項

○ 新型コロナウイルスの影響

令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず当館も臨時休館を余儀なくされ、展覧会の中止、期間短縮及び延期に係る展示計画の変更・調整に苦慮することとなった。

さらに、入館者数も伸び悩み、特に多数の入館者を見込んでいた東京富士美術館コレクション展は影響が大きかった。

○ 新型コロナウイルス感染防止対策

開館時には、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（公

益財団法人日本博物館協会)等を踏まえ、感染防止策を徹底し、来館者の皆様に優れた文化芸術に触れていただく機会を提供するよう努めた。

【スタッフ対策】

入館時にアルコール手指消毒及び非接触式体温計による検温を実施。その後、朝礼時に体調を確認している。

展示室では、マスク、フェイスシールド、白手袋を着用し、“もぎり”やチケット売り場等にはアクリルボードを設置し、金銭等はトレーでやりとりするなど、ソーシャルディスタンスをしっかりと確保した接客に留意するとともに、体調が悪そうなお客様を見かけた場合は積極的な声かけを行っている。

【施設内の対策】

玄関にアルコール手指消毒器、非接触式体温計の設置。受付窓口等にアクリルボードの設置。接触確認アプリ「もしサポ岡山」への登録案内設置。常時、空調機による外気の機械式換気、接触感染の可能性のある部分(手すり、ドアノブ等)及び飛沫感染の可能性のある部分(アクリルボード等)の定期的かつ頻繁な消毒を実施。ソーシャルディスタンス確保のため、床面に足形プリントシールを貼り、観覧動線を一方通行とした上で、混雑が予想されるエリアではベルトパーティションによる整列・分離を行っている。

【来館者へのお願い】

上記の内容をHPや館内案内で掲示している。

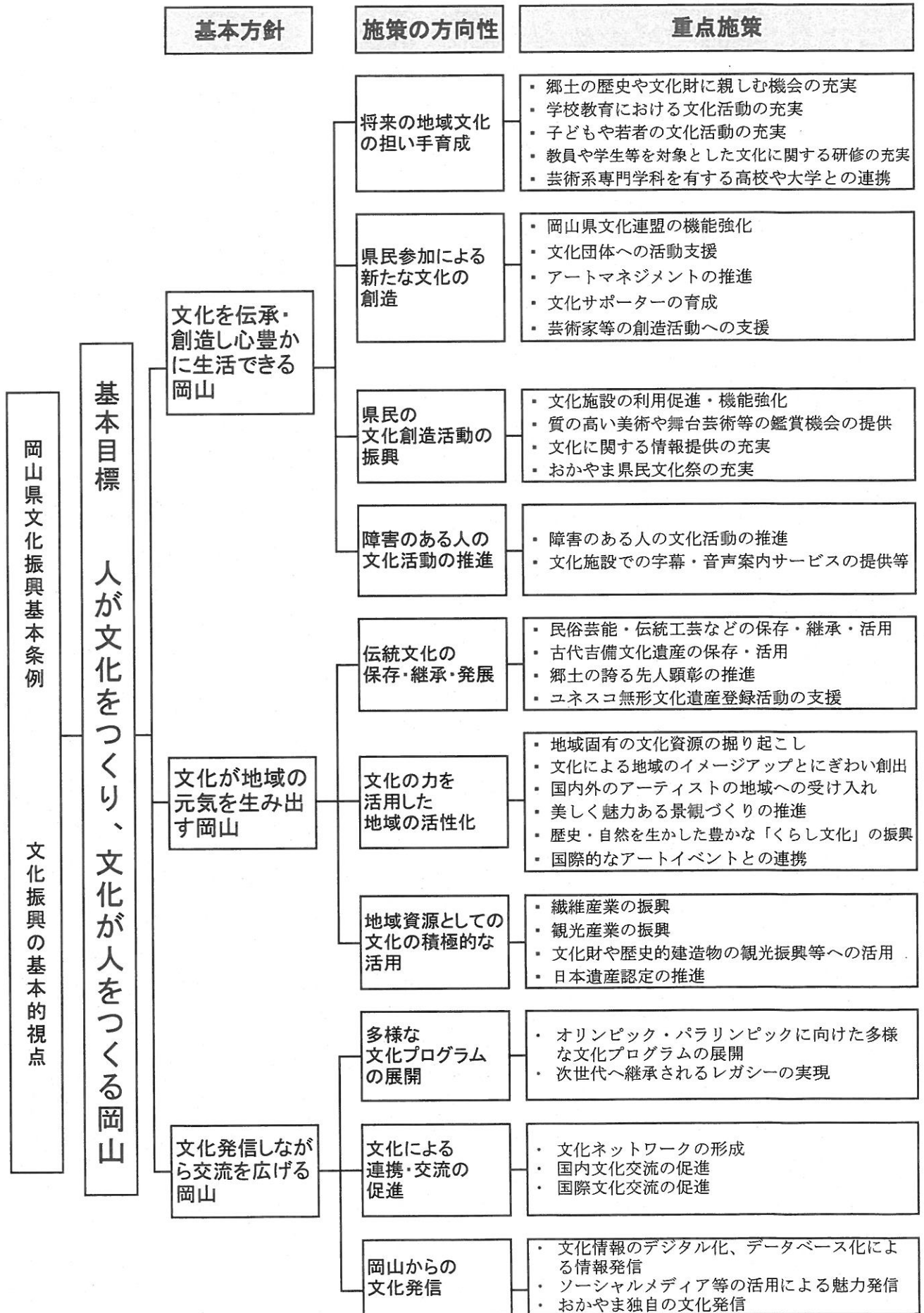
【その他】

陽性者または濃厚接触者の発生時に保健所等による追跡調査ができるよう、来館者カードへの記入により、連絡先を把握するようにしている。

新型コロナウイルス感染症関連対策事業

事業趣旨	<p>施設の休館などにより、活動の自粛を余儀なくされた文化団体を支えるため、本県独自の活動支援や施設への感染防止対策支援などを行い、本県の文化の活力が維持できるよう、県民が文化・芸術を体験し鑑賞する機会の確保を図る。【令和3年9月補正予算】</p>
事業概要	<p>1 みんなの文化活動応援事業 新型コロナウイルスの変異株の感染拡大に伴い、緊急事態宣言の発出による不要不急の外出の自粛要請や文化施設の休館等により、大きな影響を受けた県内の文化芸術活動を行う団体（文化団体等）の発表の機会を確保するため、会場借上げや作品搬入など活動のための経費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集期間 令和3年10月4日～11月30日 ・ 申請件数 57件 ・ 申請金額 4,940千円
	<p>2 美術館応援プロジェクト事業 公的支援の少ない私立美術館の企画展・広報等に係る経費を助成した。 県内にある博物館法に基づく登録を行っている12の私立博物館に対して、補助対象経費の1/2を助成した。（年間利用者数に合わせて施設ごとに上限額を設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集(令和3年10月4日～12月10日) ・ 交付決定件数 6件 ・ 交付決定金額 7,433千円

おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系図



おokayama文化振興ビジョン(2018-2027)における成果指標の実績

1 文化を伝承・創造し心豊かに生活できる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
文化施設利用者数	483,612人	530,000人	220,477人	225,987人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				

(1) 将来の地域文化の担い手育成

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
おokayamaの文化財キッズ ページ年間アクセス数	854件 (2016年度)	1,800件 (2020年度)	6,201件	5,554件
(説明)おokayamaの文化財キッズページ年間アクセス数				
学校行事で県立美術館を 訪れた人数	3,661人	4,800人	2,033人	1,656人
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数				
子どもみらい塾講師派遣 回数	406回	530回	209回	229回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数				
優れた芸術を鑑賞した学 校数	668校	1,300校	1,178校	1,290校
(説明)県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数				
アウトリーチ活動実施回数	39回	43回	11回	12回
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数				

(2) 県民参加による新たな文化の創造

(最新版)

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数	—	400件	435件	512件
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数の累積数				
文化関係各種助成金の採択件数	31件	40件	21件	25件
(説明)日本芸術文化振興会、地域創造、エネルギー文化・スポーツ財団等の団体が募集した助成金事業に採択された件数				
県が実施するアートマネジメント講座修了者数	69人	200人	115人	127人
(説明)県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数				
県立美術館ボランティア数	89人	100人	95人	93人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数				
岡山県美術展覧会への応募点数	3,296点	3,300点	0点	2,282点
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻)の点数 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は行っていない。				

(3) 県民の文化創造活動の振興

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
文化施設利用者数	483,612人	506,000人	220,477人	225,987人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				
「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	30.2% (2016年度)	38.0% (2020年度)	28.0% (2020年度)	26.2% (2021年度)
(説明)県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合				
「岡山文化情報」ホームページアクセス数	25,697件	34,000件	38,444件	7,409件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数				
県民文化祭参加者数	370,978人	408,000人	110,916人	131,666人
(説明)おかやま県民文化祭への総参加者数				

(4) 障害のある人の文化活動の推進

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
障害のある人のアート展への応募点数	—	250点	298点	302点
(説明)岡山県主催の障害者アート展への応募点数				
beyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数	—	1,100件 (2020年度)	767件	838件
(説明)岡山県が認定するbeyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組みを含むプログラムの認定件数の累積数				

2 文化が地域の元気を生み出す岡山

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R9(2027)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
地域の特色や魅力を生かす取組を展開できるアートマネジメント人材の育成数	69人	500人	388人	469人
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツが実施するアートマネジメント研修受講者数と県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数				

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
日本伝統工芸展への応募点数	116点	120点	51点	57点
(説明)日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数				
登録文化財の登録件数	275件	310件	342件	344件
(説明)登録文化財の登録件数				
犬養木堂記念館及び岡崎嘉平太記念館利用者数	25,772人	29,000人	21,102人	14,118人
(説明)犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館の利用者数				

(2)文化の力を活用した地域の活性化

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数	—	2,000件 (2020年度)	1,173件	1,246件
(説明)東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数				
県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	118団体	130団体	366団体	240団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数				
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加アーティスト数	20人	25人	8人	11人
(説明)県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加アーティスト数 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からのアーティストの招へいは困難な状況であるため、参加アーティスト数は減少している。				
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	8団体	10団体	9団体	9団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数				
外国人旅行者宿泊者数	133,082人	300,000人 (2020年度)	15,240人	3,929人
(説明)県が調査している外国人旅行者宿泊者数				

(3)地域資源としての文化の積極的な活用

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
観光入込客数	1,433万人	1,500万人 (2020年)	1,332万人 (R2暦年)	7月に公表予定 (R3暦年)
(説明)観光庁「観光入込客統計」(暦年調査)による観光入込客数				
後楽園の入園者数	744,039人	900,000人 (2020年度)	360,304人	203,140人
(説明)後楽園の入園者数				

3 文化発信しながら交流を広げる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
文化施設ホームページアクセス件数	360,035件 (2016年度)	432,000件	736,369件	641,503件
(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館のホームページアクセス件数				

(1) 多様な文化プログラムの展開

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数【再掲】	—	2,000件 (2020年度)	1,173件	1,246件
(説明) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数				

(2) 文化による連携・交流の促進

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
文化に関わる人々のネットワークづくりのためのワークショップ等受講者数	—	1,500人	912人	959人
(説明) おかやま文化芸術アソシエーツが実施する文化に関わる人々のネットワークづくりのためのレクチャー・ワークショップ受講者数の累積数				
国民文化祭への派遣団体数	8団体	10団体	0団体	6団体
(説明) 国民文化祭への派遣団体数 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の国民文化祭は、2021年に延期となった。				
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加外国人アーティスト数	5人	7人	0人	5人
(説明) 県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加外国人アーティスト数 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は、外国人アーティストの招へいは困難なため、行っていない。				

(3) 岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R2年度 (2020)	直近の実績値 (R3.12末)
「岡山文化情報」ホームページアクセス数【再掲】	25,697件	34,000件	38,444件	7,409件
(説明) 県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数				
県立美術館フェイスブック“いいね”の数	—	1,900件	1,885件	1,974件
(説明) 県立美術館フェイスブック“いいね”の数の累積数				

※累積数を指標としている場合、現況値はH28(2016)年度現在の累積数を記載している。

ビジョン見直しのスケジュール(案)

R4

2月

文化振興審議会
新たな委員の選任、意見交換

6月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「方向性」について協議

8月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「素案」について協議

10月

※概ね1カ月

パブリックコメントの実施
ビジョン見直しの「素案」について意見を公募

11月

パブリックコメントの結果公表
寄せられた意見と県の考え方を公表

R5

1月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「最終案」について協議

2月

文化振興ビジョンの見直しを決定

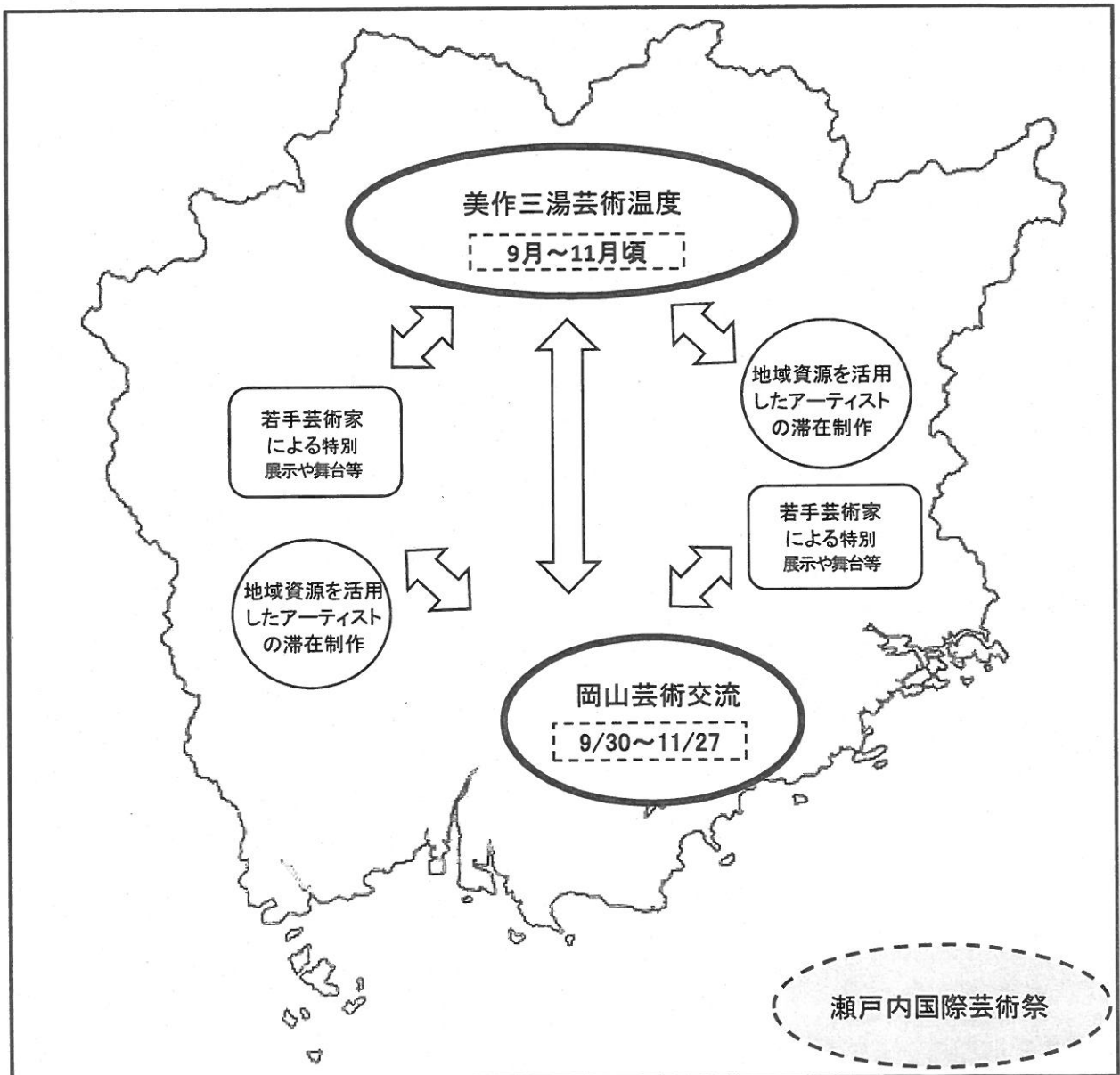
重点事業調書

担当部局・課名		環境文化部文化振興課			
重点事業の名称		文化を核とした地域活性化促進事業			
第3次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造			
	戦略の枠	8 生きがい・元気づくり支援プログラム			
	施策	1 重点 文化とスポーツの力を活用した地域の活性化、3 推進 文化創造活動の振興			
第2期 創生 戦略	基本目標	4 地域の活力を維持する			
	対策	4 地域の持続的発展のための活力の維持			
	課題パッケージ	4-② 地域社会の活性化			
終期設定(年度)	R6	予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費
現状 課題 必要性	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年度県民意識調査の結果、「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域」についての満足度が26.2%となり、前年度と比較して1.8ポイント下回った。 令和4年度は「瀬戸内国際芸術祭2022」の開催による県民の文化芸術への関心の高まりや国内外から観光客の増加が見込まれる。 県と県文化連盟が同連盟内へ設置した「おかやま文化芸術アソシエイツ」は、文化活動に関する相談支援や各種研修会等の成果により、本県の文化芸術の総合窓口として定着しており、その重要度が増している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県文化を創造し、継承・発展させていくために、地域の文化資源を生かした創作活動の促進や次世代の芸術家及び地域文化の担い手の育成のための継続的な取組が不可欠な状況である。 都市部に比べ、それ以外の地域では文化事業の開催が少なく、県下どの地域の県民にも等しく、文化・芸術の鑑賞機会が提供されているとは言えない状況である。 <p>【必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内国際芸術祭2022の開催時期に連動した各種の文化イベントを開催することにより、国内外から本県への誘客を図るとともに、より多くの県民へ文化芸術の鑑賞機会を提供する必要がある。 次世代を担う若手芸術家が活躍できる場を文化団体等と連携して提供することにより本県文化の底上げを図る必要がある。 地域の文化資源を生かした新たな創造活動を図るとともに、地域文化の担い手を育成する必要がある。 県下どの地域にも等しく、文化・芸術の鑑賞機会を提供するため、様々なエリアで文化事業を実施する必要がある。 「おかやま文化芸術アソシエイツ」のマネジメント機能を活用し、県だけでは実施不可能な文化団体等の活動支援やネットワークづくり、文化芸術に関する人材育成などを継続的に発展させることにより、本県文化の底上げを図る必要がある。 				
	事業内容	<p>1 アートプロジェクトおかやま推進事業《82,705千円》</p> <p>(1) 新規 岡山芸術交流の開催《50,000千円》 終期：R4 現代アート作品の制作及び展示を行う国際現代美術展「岡山芸術交流2022」の開催を支援する。 瀬戸内国際芸術祭の秋会期(9/29～11/6)に合わせ開催することで、国内外からの誘客の相乗効果を図るとともに、県内小中学校の校外学習による鑑賞機会の創出や県下各地で実施されるアートイベントとの連携など、県内全体で開催の効果が実感できる取組を行う。 ・開催期間 令和4年9月30日～11月27日 ・実施主体 岡山芸術交流実行委員会(会長：岡山市長、副会長：岡山県副知事、岡山商工会議所会頭)</p> <p>(2) 新規 美作三湯芸術温度の開催《16,925千円》 終期：R4 美作三湯(湯郷、奥津、湯原)の宿泊施設等にアーティストを招き、各旅館の特色を踏まえた作品の制作・展示を行うことにより、県民へ文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、文化の力を活用した地域の活性化を図る。 瀬戸内国際芸術祭2022及び岡山芸術交流2022開催の波及効果が得られるよう、これらの文化イベントと同時期に開催する。 ・開催時期 令和4年9月～11月頃</p> <p>【観光連携事業(産業労働部観光課)との連携】 岡山ディステーションキャンペーンと連携し、誘客の促進を図る。</p>			

事業内容	<p>(3) おかやまAIR地域協働事業 《4,000千円》 国内外の芸術家を招へいし、滞在制作を行うAIR (Artist In Residence) に、地域との協働による取組も併せて行うことで、地域にアートを取り入れ、多様な視点から岡山ならではの文化活動や創造活動などを促進する。 ・県内の文化団体、観光協会、地域振興団体などに委託して実施。(プロポーザル方式で事業者を選定) ・1事業あたり2,000千円×2団体</p> <p>(4) 次世代おかやまアーティスト活動促進事業 《2,000千円》 県文化の底上げを図るため、本県ゆかりの若手芸術家を起用した企画展や舞台などを実施し、若手芸術家の活動の機会を創出するとともに、ワークショップ等を実施し、県民が文化に触れ、活動できる場を提供する。 ・美術館等文化施設を管理する文化団体などに委託して実施。(プロポーザル方式で事業者を選定) ・1事業あたり1,000千円×2団体</p> <p>(5) 文化芸術オーガナイザー育成・支援事業 《5,207千円》 県民が自ら主催者となり、地域資源を生かしたアートイベントを企画し、県内各地で継続的に行えるよう、岡山の文化芸術と地域資源を生かしたイベントの企画・運営ができる人材を育成するとともに、自主企画事業等を支援する。 ・実施主体 アートで地域づくり実践講座実行委員会、県 ・文化イベント等の企画・運営に関心の高い県民が対象。受講者数は20人程度を予定</p> <p>(6) 身近にオーケストラ！鑑賞事業 《4,573千円》 オーケストラの演奏を聴く機会が少ない地域において岡山フィルハーモニック管弦楽団によるフルオーケストラ公演を実施し、質の高い芸術鑑賞の機会を提供する。 ・実施主体 (公財)岡山文化芸術創造</p> <p>2 おかやま文化芸術アソシエイツ事業 《6,235千円》 県と県文化連盟が同連盟内に設置した「おかやま文化芸術アソシエイツ」の高い専門性を生かし、文化芸術に関する相談支援、情報発信、人材育成、ネットワークづくり及びアーティストバンクを活用した芸術家の活動支援などに総合窓口として、継続的に取り組むことにより、芸術家や文化団体等による文化活動の促進を図る。 ・実施主体 (公社)岡山県文化連盟</p>						
	事業の意図・効果等	<p>【意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭の開催時期に連動した文化イベントを開催することにより、国内外からの誘客の獲得及びより多くの県民へ文化芸術の鑑賞機会の増加を図る。 ・若手芸術家の発表の場の提供や地域の文化資源を生かした新たな創造活動を図るとともに、地域文化の担い手を育成する。 ・「おかやま文化芸術アソシエイツ」の機能を活用することにより、芸術家や文化団体等の活動を支援する。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭の開催効果による国内外からの誘客を図るとともに多くの県民へ文化芸術の鑑賞機会が提供されることによる県民の文化芸術への関心や満足度の向上が期待できる。 ・若手芸術家の活躍や文化を活用した地域振興により、本県文化の底上げが図られる。 ・本県の文化芸術の総合窓口である「おかやま文化芸術アソシエイツ」の機能を生かし様々な支援を行うことにより、芸術家や文化団体等の活動が促進され、もって本県文化の底上げが図られる。 					
事業目標	事業	生き生き指標、重要業績評価指標(KPI) 等			現状値	目標値	差
	1 (3) (4) (5)	生活文化おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数			176件(R2)	190件(R6)	14件
1 (3) (4) (5)	KPI おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数			176件(R2)	190件(R6)	14件	
事業費の見積もり	区分	R3予算額	R4予算要求額	R5見込額	R6見込額	R7以降見込額	
	事業費(単位:千円)	28,633	88,940	22,015	22,015		
	財源内訳	国庫	19,487	11,462			
		起債					
		その他特定財源					
一般財源	9,146	77,478	22,015	22,015			

アートプロジェクトおかやま推進事業 事業展開イメージ

- ・瀬戸内国際芸術祭の開催時期にあわせて県内各地で文化イベントを開催し、岡山デスティネーションキャンペーンとも連携することで、国内外からの誘客の効果を全県に波及させる。
- ・県民が県内の様々な場所で、より多くのアートに触れる機会を創出する。
- ・地域資源の活用や県内アーティストの起用などの取組を地域と協働で行うことで、地域の活性化につなげる。



犬養木堂記念館の指定管理者の指定について

次のとおり、指定管理者を指定するものとする。

- 1 管理を行わせる施設 岡山市北区川入102番地1
犬養木堂記念館
- 2 指定管理者となる団体 岡山市北区表町1丁目7番15号
公益財団法人岡山県郷土文化財団
理事長 石井清裕
- 3 指定の期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

(参 考)

公益財団法人岡山県郷土文化財団の概要

- (1) 設 立 昭和54年10月26日
- (2) 役員数 11名(理事9名、監事2名)
- (3) 会員数 2,056名(R3.4.1現在)
- (4) 目 的 岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与することを目的とする。
- (5) 事業内容 ①自然・文化財等保護活用事業
②普及啓発事業
③地域文化振興事業
④受託事業等
 - ・岡山後楽園の管理運営
 - ・自然保護センターにおけるタンチョウ飼養及び傷病鳥獣の保護等
 - ・犬養木堂記念館及び生家、岡崎嘉平太記念館の指定管理
 - ・岡山県「内田百閒文学賞」の作品募集及び審査・表彰等業務

岡崎嘉平太記念館の指定管理者の指定について

次のとおり、指定管理者を指定するものとする。

- 1 管理を行わせる施設 加賀郡吉備中央町吉川4860番地6
岡崎嘉平太記念館
- 2 指定管理者となる団体 岡山市北区表町1丁目7番15号
公益財団法人岡山県郷土文化財団
理事長 石井清裕
- 3 指定の期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

文化観光拠点施設を中核とした 地域における文化観光の推進に関する法律の概要

趣旨

文化・観光の振興、地域の活性化には、文化についての理解を深める機会の拡大及びこれによる国内外からの観光旅客の来訪促進が重要であり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを契機に、文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、主務大臣（文部科学大臣・国土交通大臣）による基本方針の策定、拠点計画・地域計画の認定、これらの計画に基づく事業に対する特別の措置等を講ずる。

概要

1. 「文化観光」「文化観光拠点施設」の定義【第2条】

文化観光：文化資源の観覧等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光

文化観光拠点施設：以下を満たし、地域における文化観光の推進の拠点となるもの

- ①文化資源の保存及び活用を行う施設（文化資源保存活用施設※1）のうち、
- ②観光旅客が文化についての理解を深めることに資するよう解説・紹介をするとともに、
- ③文化観光の推進に関する事業を行う者（文化観光推進事業者※2）と連携するもの

※1 博物館、美術館、社寺、城郭等
 ※2 観光地域づくり法人(DMO)、観光協会、旅行会社等

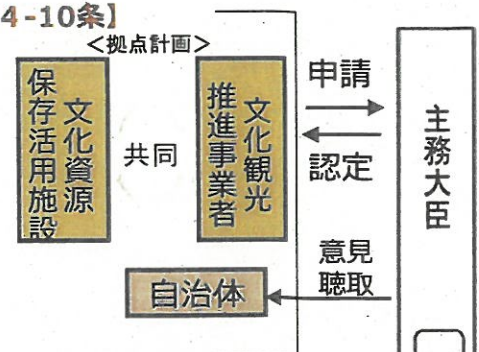
2. 主務大臣による基本方針の策定【第3条】

意義・目標、事業・計画認定や関係施策との連携に関する基本的事項 等

3. 地域における文化観光を推進するための措置

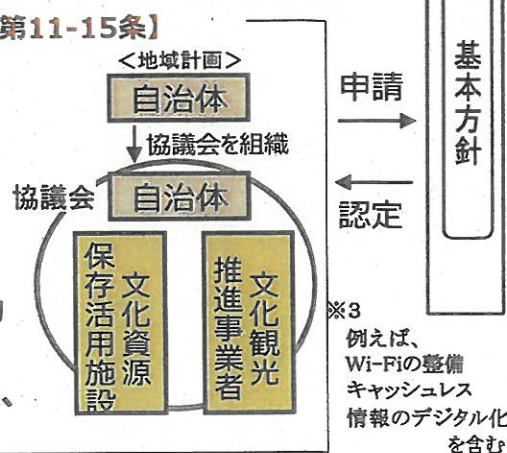
①拠点計画の認定等及びこれに基づく事業に対する特別の措置【第4-10条】

- ・文化資源保存活用施設の設置者は、文化観光推進事業者と共同して文化観光拠点施設としての機能強化に関する計画（拠点計画）を作成し、主務大臣の認定を申請。【第4条】
- ・拠点計画では、機能強化に関する基本方針や目標のほか、施設内の文化資源の魅力増進、観光旅客の文化理解を深める措置、移動等の利便増進※3、広報等の事業等を定める。【同上】
- ・認定を受けた拠点計画に基づき、共通乗車船券、道路運送法、海上運送法に関する特例措置を実施。【第8-10条】



②地域計画の認定等及びこれに基づく事業に対する特別の措置【第11-15条】

- ・市町村又は都道府県が単独で又は共同して組織する協議会において、文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進に関する計画（地域計画）を作成し、自治体・文化観光拠点施設の設置者・文化観光推進事業者が共同して、主務大臣の認定を申請。【第11,12条】
- ・地域計画では、当該地域における文化観光の推進に係る基本方針や目標のほか、地域内の文化資源の総合的な魅力増進、移動等の利便増進※3、広報等の事業等を定める。【第12条】
- ・認定地域計画に基づき、文化財の登録の提案に関する特例措置、①と同様の特例措置を実施。【第16,17条】



※3 例えば、Wi-Fiの整備、キャッシュレス情報のデジタル化を含む

③国等の援助等【第18-21条】

- ・国・地方公共団体・国立博物館等による助言、（独）国際観光振興機構（JNTO）による海外宣伝、国等所有の文化資源の文化観光拠点施設での公開への協力等

※このほか、予算・税制等における支援を行う

施行期日

公布の日から起算して1月を超えない範囲において政令で定める日

※有形・無形の別その他の文化資源の性質に応じた文化観光の推進の重要性に鑑み、この法律の施行後三年以内に、多様な情報の共有を図るための基盤の整備その他の地域における文化観光の一層の推進のために必要な施策について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずる。

文化観光推進法 認定計画 (41計画) R3年11月時点

認定年度	番号	計画の実施地域	計画	主な申請者	文化観光拠点施設
令和2年度	1	秋田県横手市	地域	横手市	横手市増田まんが美術館
	2	群馬県高崎市	拠点	群馬県	群馬県立歴史博物館
	3	東京都品川区	拠点	(株)寺田倉庫	WHAT
	4	山梨県	地域	山梨県	山梨県立美術館、平山郁夫シルクロード美術館、中村キース・ヘリング美術館、清春芸術村
	5	愛知県名古屋	拠点	(公財)徳川黎明会徳川美術館	徳川美術館
	6	福井県福井市	地域	福井県	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡
	7	奈良県	地域	奈良県	奈良国立博物館、奈良県立美術館、奈良県立民俗博物館、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、奈良県立万葉文化館、なら歴史芸術文化村
	8	大阪府堺市	地域	堺市	堺市博物館、さかい利晶の杜、堺伝統産業会館
	9	岡山県倉敷市	拠点	(公財)大原美術館	大原美術館
	10	熊本県阿蘇市	地域	阿蘇市	阿蘇火山博物館
	11	青森県十和田市	拠点	十和田市	十和田市現代美術館
	12	山形県酒田市	拠点	(公財)本間美術館	本間美術館
	13	福島県会津若松市	拠点	福島県	福島県立博物館
	14	埼玉県所沢市	拠点	(公財)角川文化振興財団	角川武蔵野ミュージアム
	15	神奈川県横浜市	拠点	横浜市	横浜美術館
	16	新潟県十日町	地域	十日町市	十日町市博物館、越後妻有交流館キナーレ、まつだい雪国農耕文化村センター、越後松之山「森の学校」キョロロ、十日町市清津峡渓谷歩道トンネル
	17	石川県七尾市	拠点	七尾市	和倉温泉お祭り会館
	18	長野県御代田町	拠点	(株)アマナ	MMoP 御代田写真美術館(仮称)
	19	静岡県熱海市	拠点	(公財)岡田茂吉美術文化財団	MOA美術館
	20	京都府京都市	拠点	京都市上下水道局	琵琶湖疏水記念館
	21	奈良県明日香村	地域	明日香村	飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥水落遺跡、酒船石遺跡、石舞台古墳、牽牛子塚古墳、中尾山古墳、キトラ古墳、高松塚古墳
	22	徳島県	地域	徳島県	徳島県立博物館、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷、阿波おどり会館、藍住町歴史館藍の館、徳島県立大鳴門橋架橋記念館(渦の道)
	23	徳島県美波町	拠点	美波町	日和佐うみがめ博物館カレッタ
	24	福岡県北九州市	地域	北九州市	北九州市立自然史・歴史博物館、北九州市立新科学館(仮称)
	25	長崎県長崎市	拠点	(株)ユニバーサルワーカーズ	軍艦島デジタルミュージアム

文化観光推進法 認定計画 (41計画) R3年11月時点

認定年度	番号	計画の実施地域	計画	主な申請者	文化観光拠点施設
令和3年度	26	北海道小樽市	拠点	(公財)似鳥文化財団	小樽芸術村
	27	神奈川県横浜市	拠点	横浜市	横浜開港資料館
	28	石川県金沢市	地域	石川県	石川県立美術館、石川県立歴史博物館、金沢21世紀美術館、金沢能楽美術館、国立工芸館
	29	長野県長野市	拠点	長野県	長野県立美術館
	30	滋賀県彦根市	地域	彦根市	彦根城、彦根城博物館
	31	滋賀県長浜市	地域	長浜市	長浜城歴史博物館、長浜市曳山博物館、長浜鉄道スクエア
	32	大阪府大阪市	拠点	地方独立行政法人 大阪市博物館機構	大阪中之島美術館
	33	兵庫県姫路市	拠点	姫路市	姫路市立美術館
	34	兵庫県豊岡市	地域	豊岡市	城崎国際アートセンター
	35	和歌山県高野町	拠点	宗教法人金剛峯寺	総本山金剛峯寺
	36	鳥取県境港市	拠点	境港市	水木しげる記念館
	37	岡山県瀬戸内市	拠点	瀬戸内市	備前おさふね刀剣の里(備前長船刀剣博物館)
	38	福岡県宗像市・福津市	地域	福岡県	海の道むなかた館、福津市複合文化センター歴史資料館、宗像大社神宝館
	39	長崎県	地域	長崎県	長崎歴史文化博物館、大浦天主堂キリシタン博物館、平戸市生月町博物館島の館、五島観光歴史資料館、有馬キリシタン遺産記念館、長崎県美術館
	40	大分県大分市	拠点	大分県	大分県立美術館
	41	滋賀県大津市	拠点	滋賀県	滋賀県立美術館

備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者):
備前おさふね刀剣の里 (備前長船刀剣博物館) (瀬戸内市)
文化観光推進事業者:
一般社団法人瀬戸内市観光協会、株式会社感謝、
株式会社せとちうクルーズ

計画期間

令和3年度～令和7年度 (5年間)

目標

- ①入館者数
令和元年度43,753人 → 令和7年度50,000人 (114%)
- ②外国人入館者数
令和元年度2,379人 → 令和7年度2,400人 (101%)
※10年後(令和12年度)には4千人以上(168%以上)
- ③来館者の満足度(「とても満足」「満足」の回答割合)
未把握 → 令和7年度80%以上
- ④入館料以外の売り上げ
令和元年度17,482千円 → 令和7年度24,000千円 (137%)

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力を増進>
・サブカルチャーとのコラボ展や国立館等からゆかりの備前刀を借用した特別展の開催
- <2.文化についての理解促進>
・国宝「山鳥毛」等のデジタルコンテンツの作成、日本刀の里ガイドの養成
- <3.文化観光に関する利便の増進>
・観光タクシーの運行、レンタートサイクルの導入
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
・体験コンテンツや日本刀関連商品の開発
- <5.国内外への宣伝>
・「日本刀の聖地・長船」を掲げた広報展開
- <6.施設又は設備の整備>
・展示解説の改修、来館者数増加に対応した駐車場整備

文化観光拠点事業費(5年間の計画ベース)

315万円(うち、文化観光推進事業補助金192万円)

計画区域

瀬戸内市

瀬戸内市長船町地域

刀鍛冶の信仰社「鞆負神社」
(県郷土記念物「天王社刀剣の森」)



刀鍛冶の菩提寺「慈眼院」
(市指定「元之進祐定の梵鐘」等)



<瀬戸内市>

備前おさふね刀剣の里 (備前長船刀剣博物館)

(国宝「太刀無銘一文字(山鳥毛)」、日本刀製作技術保持者等)



〔宿泊+体験〕
岡山いこいの村、ホテルリマーン
ほかホテル・旅館・民宿・ペンション

〔体験〕
クルーズ船「ガンツウ」

飲食施設

JR「長船駅」

シャトルバス

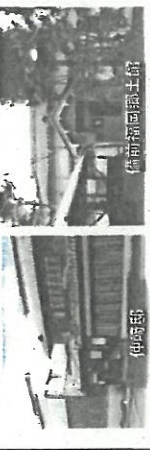


観光タクシー

レンタサイクル

飲食施設

「備前福岡」
(国登録「仲崎邸」等)



販売施設
飲食施設



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設

重点事業調書

担当部局・課名		産業労働部 観光課			
重点事業の名称		ポストコロナ観光振興事業			
第3次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅱ 地域を支える産業の振興			
	戦略的方針	3 観光振興プログラム			
	施策	1 重点 滞在型観光の推進			
第2期 創生 戦略	基本目標	3 持続的に発展できる経済力を確保する			
	対策	3 地域の持続的発展のための経済力の確保			
	施策パッケージ	3-② 産業の活性化			
終期設定(年度)	R6	予算区分	一般	事項名	観光地魅力向上対策事業費
現状 課題 必要性	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、団体旅行から個人旅行、量から質への転換、SNSによるプロモーションの急拡大など、観光業界を取り巻く環境は大きな転換点を迎えている。 これまで観光客は交通網の発達した県南を多く訪れているが、コロナ禍により、自然豊かな県北にチャンスがあるとともに、美作三湯芸術温度を始めとするアートの盛り上がりが見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県のみならず、市町村や観光関係事業者においても、これまでの観光振興策の大きな見直しが迫られている。 ポストコロナ期の観光客のニーズを適切に把握しながら、好機を迎えている県北に観光客を呼び込み、県全体の滞在・周遊に導くコンテンツが不足している。 <p>【必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分析結果などのエビデンスに基づく、ポストコロナに対応した県全体の観光戦略を関係者に明確に示す必要がある。 観光戦略調査を踏まえつつ、イベント面でエアポケットとなる2024年に向け、中・長期的なビジョンを持って、ポストコロナ期の観光に合致した「仕掛け」に取り組む必要がある。 <p>※ 2022：岡山DC、瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流、美作三湯芸術温度 2023：アフターDC 2025：大阪万博、瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流、美作三湯芸術温度（見込みを含む。）</p>				
	事業内容	<p>1 新規ポストコロナ期に漕ぎ出す観光羅針盤作成事業 《17,492千円》 終期：R5</p> <p>市町村、観光協会等と連携してポストコロナに対応した戦略を策定し、県全体の観光振興を進めるうえでの方向性を共有することにより、DCで磨き上げた観光素材の定着化を図るとともに、持続可能な観光地づくりに一丸となって取り組む。</p> <p>また、観光旅行に関する各種調査において、本県の観光満足度が他都道府県と比較して非常に低くなっており、その原因を把握し、戦略策定に反映させる。</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客満足度調査の実施及び分析結果等のデータや他県の成功事例、アドバイザーによる専門的な助言を参考にしながら、県の目指すべき方向についての戦略を策定する。 データに基づく分析結果と戦略を市町村や観光協会、観光事業者等に共有するとともに、国の動向、社会情勢の変化、関係者との意見交換等を踏まえ、戦略を柔軟に見直す。 			
<p>2 新規県北アートを切り口とした県観光振興事業 《20,000千円》</p> <p>県北地域で盛り上がりを見せる「アート」を切り口に、県観光振興を図るべく「アートプロジェクト」の2024年秋開催に向け取り組むこととし、2022年度は、コンセプト検討（アートディレクター委託）、実行委員会設立、アート作家選定等を行う。</p> <p><プロジェクト概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 県北地域に数カ所のアート拠点施設を設け、現代アートを中心とした作品の展示等により、非日常の特別な体験を観光客に提供する。 拠点施設から県北を始め県内観光地への周遊を、DCのノウハウ等を生かし促すことにより、全県における滞在型の観光振興を目指す。 					

事業の意図 効果等	<p>【意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポストコロナ期の観光戦略を策定するとともに、県北そして県全体を訪れてもらうための滞在・周遊型のアートプロジェクトを開催し、観光客の満足度の高い観光地づくりに取り組み、リピーターの増加や滞在時間の延長につなげる。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光消費額、観光入込客数、延べ宿泊者数の回復（目標来場者数等は今後詳細な検討を実施） ※ 県、市町村、観光協会等が一丸となって本県の観光振興に取り組む体制を構築し、そうした中でアートプロジェクトを開催することにより、県北はもとより県全体における滞在・周遊型観光に繋げ、観光消費額、観光入込客数及び延べ宿泊者数の回復が図られる。 						
	事業目標	事業	生き生き指標、重要業績評価指標(KPI) 等		現状値	目標値	差
	1, 2	生き生き観光消費額		1,183億円 (R2)	1,750億円 (R6)	567億円	
	1, 2	生き生き観光入込客数		1,332万人 (R2)	1,600万人 (R6)	268万人	
	1, 2	生き生き延べ宿泊者数		377万人 (R2)	600万人 (R6)	223万人	
事業費の見積もり	区 分		R3 予算額	R4 予算要求額	R5 見込額	R6 見込額	R7 以降見込額
	事業費(単位:千円)			37,492	24,901	25,000	
	財源内訳	国 庫		37,492	2,450		
		起 債					
		その他特定財源					
一 般 財 源				22,451	25,000		

◇県北アートを切り口とした県観光振興事業

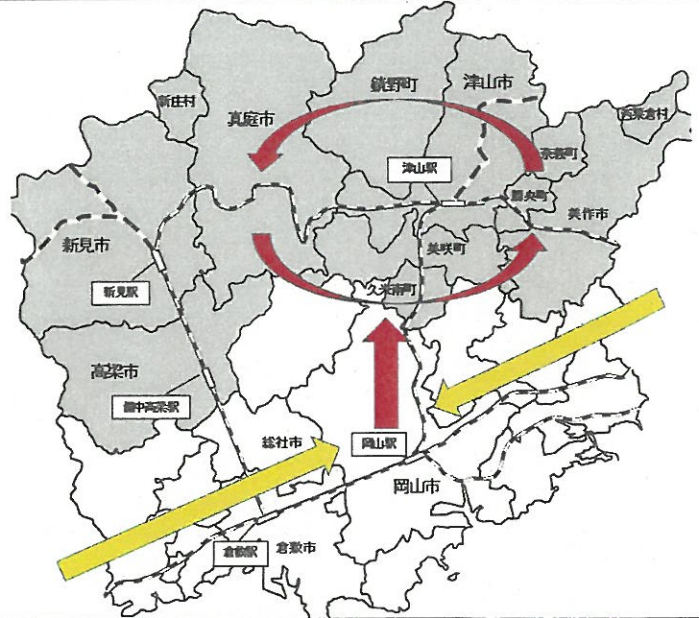
1 地域の現状・課題

- 本県観光に対する満足度の低迷
- 交通が便利な県南部に観光客が集中しており、日帰りが多く、宿泊に繋がらない
- イベント面でエアポケットとなる2024年に向けた「仕掛け」が必要
- コロナ禍を踏まえ、自然豊かな県北に好機
- 県北地域におけるアートの盛り上がり（美作三湯芸術温度 等）

2 アートを切り口とした課題解決

☆「アートプロジェクト」の開催

- 地元資源の活用、人材の活用
- 地域住民の活力の向上
- 県北の魅力を引き上げるアートの設置
・その土地ならではの魅力・非日常を体験
- 満足度の向上、滞在時間の延長
- 消費単価の向上
- 交流人口の増加（南北間格差是正）
- 地域を誇りに感じる住民増



3 事業の概要

- 岡山県北地域で盛り上がりを見せる「アート」を切り口とした観光振興を図るため、「アートプロジェクト」の2024年開催に向け取り組む。
- 県北地域に数カ所の拠点施設を設け、現代アートを中心とした作品の展示等により、非日常の特別な体験を提供する。
- 拠点施設を皮切りに県内観光地を訪れてもらい、全県における滞在・周遊型の観光振興を目指す。

4 年度別取組

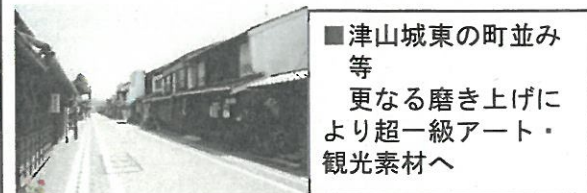
- R4 (2022)
 - ・コンセプト等検討（アートディレクター委託）
 - ・実行委員会設立、アート作家選定開始
- R5 (2023)
 - ・プロジェクト開催概要決定、広報、アート作品制作
- R6 (2024)
 - ・プロジェクト開催（秋期） → 継続的な開催へ



■奈義町現代美術館（奈義町）
県観光写真コンテスト大賞作品。アートによる観光振興の事例

5 体制・予算規模

- 体制：県、市町村、関連団体等による実行委員会方式
- 予算規模
 - ・全体予算は、3年間（2022～2024）で3億円程度
 - ・内、県負担予定額は3年間で6千5百万円（R4（2022）年度要求額2千万円）
 - ・JR西日本と連携して事業実施（JR西日本負担予定額はR5（2023）年度以降2年間で1億3千万円）



■津山城東の町並み等
更なる磨き上げにより超一級アート・観光素材へ



■GREENable HIRUZEN
■備中松山城
■湯郷温泉 等
周遊・滞在に繋げるアート・観光素材